

第6回 国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくり協議会 《意見のまとめ》

テーマ：国分寺街道周辺エリアのまちのにぎわいの創出

日時：7/11（水）14：00～16：00 場所：リオンホール（cocobunji WEST5階）

	A班	B班	C班
1. 国分寺街道にふさわしいにぎわい	<p>【人と人のつながりによるにぎわい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多世代が交流できる場所がある。 ○住民が集えるお店がある。 ○地区内には児童館、さわやかプラザもとまち等の施設があることから福祉と連携したにぎわい。 	<p>【人と人のつながりによるにぎわい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生との連携・コミュニティがある。 （東京経済大学や東京学芸大学の近隣の学校だけではなく、周辺の大学の学生が集まるコミュニティがある。また、卒業しても在校生が引継ぎ、人が変わっても続いている。） 	
	<p>【地域資源を活かしたにぎわい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元住民のための商店街がある。 ○こくベジや農地などを活かしたにぎわい。 ○歩く人が安全に通行できている。 ○通学路として活用されている。 ○人が集まれる地域資源や施設を核としたにぎわい。 	<p>【地域資源を活かしたにぎわい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○昔ながらの商店街が、まちなみを形成していることが地域資源であり、重要である。その魅力を活かしたにぎわい。 ○まとまった農地が地域の魅力。農業体験や地場生産の野菜の直売などで人が集まっている。 ○野川や元町用水などの水資源を活かしたにぎわい。 ○一里塚、不動橋などの資源がある。ここを回遊ルートの起点としたにぎわい。 	<p>【地域資源を活かしたにぎわい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○徒歩圏で必要な買物がすべて揃い、便利。 ○史跡や不動橋などの歴史資源を活かしたにぎわい。 ○武蔵国分寺方面、あるいは東元町一・二丁目方面などへの回遊ルートの一部として、国分寺街道に人が歩いている。 ○芋けんぴのお店やねじまき雲、ローズガーデンなど、周辺の集客力のある店舗等を活かしたにぎわい。
		<p>【その他意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「外から人が来るにぎわい」と「住んでいる人たちが集う、地域内でのにぎわい」とに分けて考える必要がある。 	
2. にぎわいを創出するための取組	<p>【地域資源を活かした取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産緑地を活用し、家庭菜園を整備する。 ○こくベジの直売所を集約した、こくベジ市場を作る。 ○農工大で焼酎を作っていることを参考に、大学と地元の名産品の共同開発をする。 	<p>【地域資源を活かした取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道の駅のように地域のものが買え、イートインできる拠点を作る。周辺の農地・農産物を活用し、6次産業を確立させる。 ○周辺の生産緑地を残し、にぎわいに活用していく。地場生産の野菜の直売所を国分寺街道沿いにつくる。 	<p>【地域資源を活かした取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○史跡ロードなどの名称をつけ、誰もが分かりやすい商店街のイメージづくりをする。 ○日本遺産への認定に再チャレンジし、地域のブランド化につなげる。 ○国分寺駅方面に向かって坂を上らなければいけないので、地元では府中方面を利用する人も多い。そこで、駅に向かう坂（斜面）に動く歩道を整備して上りやすくしてはどうか。 ○将来的には、バスが自動運転化されることを想定し、地域で受け入れやすい基盤や体制を作る。
	<p>【商店の誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学路として使用する学生が立寄りたくなるような、安価に飲食できるお店を誘致する。（コロッケの丸愛のような） ○マンションやアパートが増えているので、そこに住む住民が集まれる居酒屋などを誘致する。 	<p>【商店の誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○共同直売所やコロッケ店に人が集まっているので、国分寺街道沿いにも店舗を立地させる。 ○「駅で買うもの」と「地区内で買うもの」を分け、地区内での買物の用途に見合った品揃えの商店を誘致する。 	
	<p>【にぎわいの主体の育成（学生・エリアマネジメント）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアに参加した学生に単位を与えるなどのインセンティブを与え地域参加を推進する。 	<p>【にぎわいの主体の育成（学生・エリアマネジメント）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者向けにテストマーケティングを兼ねた創業支援を行う。学生などが試しに事業に取組み、軌道に乗ればここで事業を続けてもらうような仕組みをつくる。 	<p>【にぎわいの主体の育成（学生・エリアマネジメント）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来的なエリアマネジメントによるまちづくりの取組を見据え、既存の商店会や町会が連携できる基盤や組織作りを進める。

（裏面に続く）

2. にぎわいを創出するための取組

	A 班	B 班	C 班
	<p>【空き店舗等の利活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空き店舗の利用により、地主にインセンティブを与え、安価で貸し出す仕組みを作る。 ○空き店舗を継続的な学生ボランティアの拠点として活用する。 	<p>【空き店舗等の利活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空き店舗を活用するために、建物所有者であるオーナーが協力してくれる仕組みをつくる。 ○商店街の店舗併用住宅のシャッターを上げさせる取組を行う。例えば、併用住宅の店舗の中で空間を仕切り、商業スペースとオーナーの居住空間を区分してオーナーのプライバシーを守れるような工夫ができるのではないか。 ○大学等が何かできるように、利用できる場所を作っておく。大学からの要望に対応するのではなく、事前に環境や器（空間）を準備して、それを活用してもらうよう売り込んでいく。 ○空き家・空き店舗を活用して、大学との取組を行う。 	<p>【空き店舗等の利活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国 3・4・11 号線の整備に際して、移転が必要となる店舗等の移転先として、商店街の空き店舗等を活用する。
	<p>【イベントの開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農地を活用し、農業体験などのイベントを行う。 ○さわやかプラザもとまちでは、様々なイベントを開催することで、多くの集客がある。学生にも参加してもらい多世代が交流できるような場とする。 ○元町用水でのホテルの放流や本村八幡神社祭礼など地域資源を活用したイベントと連携し、国分寺街道に人を呼び込む。 ○府中市等と連携したイベントを行い、人を呼び込む。 	<p>【イベントの開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通過交通は国 3・4・11 号線へと移るので、国分寺街道を歩行者天国にしてイベントを実施するなど、地域の人々の場として活用し、商店街を活性化させる。 	<p>【イベントの開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人を呼び込む工夫として、スタンプラリーなどを行う。
	<p>【にぎわいの拠点づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国分寺街道全体をにぎわすのではなく、地域の核となる施設（不動橋、桃の湯、公共施設）やバス停付近を中心として、にぎわいを創出する。 	<p>【にぎわいの拠点づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国分寺街道沿いににぎわいの拠点を形成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・北側の拠点を南町二丁目交差点周辺とし、国分寺駅方面から来る人の入口となり集まる場所とする。 ・中心拠点を一里塚バス停・不動橋周辺の資源を活用できる場所とする。また、周辺への回遊の拠点として活用する。 ・南側の拠点を府中市との境界付近につくり、府中方面から来る人の入口とする。 ○国分寺街道沿いに地域住民が集まれるコミュニティの場所をつくる。 	<p>【にぎわいの拠点づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外から来る人のために、公衆トイレを整備する。 ○コンビニ等のトイレを公衆トイレのように使ってもらおう。 ○商店街で共同管理できるようなトイレの整備を検討する。
	<p>【周辺地域の資源をつないで回遊させる取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ハイキングで駅からお鷹の道へ行く高齢者の団体が多くいるので、国分寺街道へも立ち寄ってもらえるように工夫する。 ○普段バスを利用している人に、点在している地域資源を歩いて巡ってもらえるようにする。 ○狭い裏道を通学路としている学生が多いが、防犯上危ないので、国分寺街道の安全性を確保し、通学路として歩いてもらう。 	<p>【周辺地域の資源をつないで回遊させる取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一里塚、不動橋などの資源がある。ここを回遊ルートの起点としてにぎわいを創出する。 ○来訪者の利便性を向上させるため、歩き、自転車、バスなど、多様な交通手段を用意する。シェアサイクルの導入は交通利便性を高める 1 つの手段である。 	<p>【周辺地域の資源をつないで回遊させる取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○点として存在している地域資源等をつなぐ回遊ルートを検討する。 ○武蔵国分寺方面、あるいは東元町一・二丁目方面などへの回遊ルートの一部として、国分寺街道を歩いてもらえるように回遊ルートを検討する。 ○歴史資源を活かした、ウォーキングルートの設定を行う。 ○歩きたくなる工夫として、シェアサイクルやパーク&ライドを行うことで、より多くの人を訪れ、歩いてもらえるようにする。 ○お鷹の道など、史跡への案内表示などを分かりやすくする。